



### 緩和ケアのマインドを伝えるために

自分の将来について思いをはせていた高校1年のころ、どんな仕事に就くと幸せになれるのだろうかかと悩み、いろいろな本を読んでいました。その当時に、一番影響を受けたのはゲーテのファストでした。悪魔と賭けをして本当の幸せを手に入れたら、魂と引き替えにするという約束のもと、ファストは若くなり、若い奥さんをお願い、富と名声を得ます。しかし、ファストはそのことを本当の幸せとはしないというくだりは、1人称の幸せは本当の幸せではないという確信として、私の人生に大きく影響しました。本当の幸せとは、自分がいることで他の誰かが喜んでくれること。こんなちっぽけな自分でも、もし他の誰かが少しでも喜んでくれたならば、本当の幸せに近づける、そんな思いになりました。そして、いろいろ悩んだ末、いのちに関わる仕事を志し、医師になろうと決めたのは高校2年生の秋でした。それから、35年が経ちます。今でも、そのときの思いはまったく変わりはありません。変わったこととしては、年を重ね、医師として緩和ケアの経験を積み、めぐみ在宅クリニックを開業して大勢のスタッフに恵まれたこと。開業以来の8年5ヶ月で1400人以上の在宅でのお別れを経験してきました。そして、いつも心にとめていることは、自分の手の届かないところで緩和ケアを必要としている患者さん・家族の存在です。どれほど私が心を込めて診療にあたっても、せいぜい関われる人数には限りがあります。そんな思いから、細々と講演活動を通して、各地域で地道に活動する仲間と出会い、それぞれの地で、人材育成の灯がともることを祈っておりました。いよいよ今年は、この祈りが現実のものとして形になりそうです。

緩和ケアを必要とする医療・介護職の第1線で働いている人に、緩和ケアのマインドが伝わる講習会を企画していきたいと思いません。実際に2日間ぐらいの研修では、緩和ケアは決して十分な学びを得ることは困難かもしれません。しかし、苦しむ人と向き合い援助を言葉にできる時、逃げないで関わり続ける理由が見つかる時、緩和ケアの志は広がっていくことでしょう。伝えたい事は、緩和ケアに関する表面的な知識ではなく、人の看取りに関わるという大きな困難と向き合う上でのマインドです。マインドがしっかり伝われば、おのずから現場で向き合い、学び続けることができるでしょう。今年は、その節目となる年になると確信しています。詳細が決まりましたら、あらためてご報告申し上げます。

(小澤竹俊)

### 看護師・訪問診療サポーター募集します

4月より常勤医師が6名体制に増員されるにあたり、訪問診療をサポートする看護師・訪問診療サポーターが不足することとなりました。5月連休明けには、最大7方向に訪問にでることになります。今後、在宅緩和ケアの需要が見込まれる中、数少ない在宅緩和ケアを学べる研修施設として、整備していきたいと考えています。単に診療するだけではなく、質の高い援助を学べること、さらには多職種チームの連携、太田先生を中心としたNSTの勉強、グリーフケアサポートチームによるグリーフの学び、地域連携室が主に担当するディグニティセラピーなどを学ぶことができます。もし、めぐみ在宅クリニックでの学びを希望される方がおりましたら、クリニックのホームページを参照ください。お待ちしております。

### 屋内駐車場が閉鎖されます

4月よりスタッフが増えることもあり、仕事をするスペースが狭くなってきました。訪問を終えて、電子カルテの記載や、振り返るためのスペースが厳しくなってきました。そこで、屋内の駐車場2台分を閉鎖し、ワークスペースを広くする改修工事を2月に行うことになりました。コンビニの跡地から今のテナントに移るときには、あまりにも大きくて、手狭になるとは思っていませんでした。今まで屋内にありました駐車場は2月中に閉鎖になります。不便をかけますが、なにとぞご了承ください。

### 診療実績

	2006-2013年	2014年1~9月	2014年10月	2014年11月	2014年12月	2014年計	2015年1月	総計
訪問回数	26,421	4,483	576	549	627	6,235	623	33,279
自宅永眠	1,087	149	16	9	25	199	24	1,310
施設永眠	96	24	2	3	4	33	0	129
在宅(自宅+施設)	1,183	173	18	12	29	232	24	1,439
病院永眠	288	28	6	3	5	42	4	334